

校内童話・お話大会！

9月4日(水)、校内童話・お話大会がありました。この大会は、地区大会への予選会も兼ねています。今年度より、校内大会だけの参加、学校代表選考への挑戦、多くの児童が参加できるように原稿を見ながらでもよいなど、「子ども達のチャレンジする気持ちを大切にしたい」とPTA 役員で話し合い、運営方法の転換をした大会でした。多くの保護者の皆さんの参観もあり、素晴らしい大会となりました。

学校代表として、2年生の城間太鳳さん、5年生山城佐織さんが選出されました。5年生の山城さんの体験をもとに感じたことをまとめた意見発表全文を載せておきますので、ぜひお読みください。

「無人島」

5年 山城 佐織

「いいなー。私もジャングルに行ってみたい。」「自分で火をおこしてみたいな。」

私は、「冒険少年」が大好きです。「冒険少年」は、有名人が無人島でサバイバルをする番組です。いつか私も無人島で自分がどこまでできるかチャレンジしてみたいとずっと思っていました。

1学期の終わりに、母が「無人島アドベンチャーキャンプというのがあるよ。」と教えてくれました。募集の紙を見ると、「無人島には、家、トイレ、水道、電気がない。そして、食べ物は自分たちで魚や貝をとってこななければならない。」と書いてありました。私は、そんな生活ができるのかなと思いました。でも、ずっとやってみたかったことなので、応募しました。参加が決まった時は、「やったー、楽しみ！！」と叫びました。不安もあるけど、楽しみでドキドキがとまりませんでした。

7月の終わり、いよいよ1週間の無人島キャンプがスタートしました。「ぎしっぷ島」という無人島で小学5年生から中学3年生までの8人でメンバーといっしょに活動します。班の仲間は、最初はこわいかな？しゃべってくれるかな？と不安になりました。でも、いっしょに活動していくうちに、すぐに手伝ってくれるやさしい人や、みんなを笑わせてくれる人などいい人達ばかりが仲間よかったと思いました。

このキャンプで一番大変だったのは、火おこしです。最高で2時間かかったこともあり。もうやりたくないなど私は心の中で思っていたけど、誰も文句を言わず、あきらめませんでした。みんなで話し合い、火種をつける人、台をおさえる人、回す人、まきを集める人と分担してやり続けたら、火がついてくれました。その時はみんなで、「やっとなつた」「イェーイ」と叫んで、大喜びをしました。

食べる物をとるのも大変でした。釣りざおを作り、ヤドカリをえさにして魚をつります。私だけ全然つれなくてくやしかった時、班の仲間がはげましてくれて、魚を分けてくれました。私は、貝をとることができたのでうれしかったです。

無人島では、飲める水をくみにいったり、食べ物をとったりするために、たくさん歩きました。私は、そんな毎日につかれてしまい、ごはんを作る時に、「もう、めんどくさい。」と言ってしまいました。「もっと、がんばった方がいいよ。」と言われて、はづかしくなりました。みんなもがんばっている、自分ももっとがんばれると気持ちを立て直したこともあり。また。

無人島での生活はとてもつかれるし、大変でした。でも、感動したこともたくさんありました。シュノーケリングでは、カラフルなサンゴしょうがいっぱい広がっているのを見ました。海の中は、とても透き通っていて、いろいろな魚が楽しそうに泳いでいるのを見ました。ウミガメも見ることができました。夜空には星いっぱいあって、流れ星もたくさん流れて最高でした。だんだん色が変わっていく夕やけの景色にも感動しました。友達は、「めっちゃきれい。」「絶対本島ではみられないね。」と言っていました。こんなきれいな海や自然を守るために、ビーチクリーンや自分のことをしていきな。

無人ですごせたのは、班の仲間のおかげです。火おこしは、一人では絶対できなかったけれど、みんなで協力したら成功しました。つかれた時は、側ではげましてくれました。一緒に見た自然の景色は、今も心に残っています。

最後に、班の仲間に伝えたいです。

「ありがとう。また、みんなで会おうね。」

学校保健委員会の開催

9月9日(月)に、学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会は、「学校保健法」に基づき、児童・職員の健康安全の保持増進を図ること」を目的に行っています。参加者は、学校医(下地氏)、学校耳鼻科医(真栄城氏)、学校歯科医(東氏)をはじめ、PTA 役員の前里会長をはじめ各部長の方々、市給食センターの津波栄養教諭、学校側から校長を含む7名の先生方が参加をして児童の健康について話し合いました。



学校保健委員会の様子